

——新しい政治を、日本共産党と「いっしょに」——

「近所のみなさん。あけましておめでとぅございます。日本共産党です。この場をお借りして、新年のごあいさつと、決意の一端を申し上げたいと思います。ご協力を、よろしくお願いいたします。

みなさん。

薬害肝炎の被害者を、一律に救済する道が、議員立法という形で、実現しようとしています。ホツとなさった方も、多いのではないのでしょうか。患者さんたちの命がけの闘いと、世論の力が、政治を動かしました。

今、私たちの国では、昨年の参議院選挙での、与党・自民公明の敗北や、安倍政権の政権投げ出し、自民・民主の「大連立」の動きなどを経て、新しい政治を願う気持ちですが、強まっているのではないのでしょうか。

日本共産党は、そうした願いをもつ皆さんといっしょに、今年を確かな前進の年にするために、力いっぱい働きます。どうぞ、暮らしの問題や、環境と平和、民主主義の問題など、何でも、近くの日本共産党員や議員に話しかけてみてください。ごいっしょに、自民・公明の政治に代わる、新しい政治を実現していこうではありませんか。

みなさん。

国会は、昨年二度も延長されて、十四年ぶりの越年国会となっています。

インド洋に海上自衛隊を再度派兵するために、福田内閣と与党・自民公明が、新テロ対策特別措置法案を、何が何でも通そうとしているからです。

この問題で、民主党は、「対案」を提出しましたが、その内容が問題です。

民主党案は、自衛隊を海外派兵するたびに、法律を作らなくてもすむように、海外派兵恒久法を早期に整備すべきだということを、盛り込んでいます。また、国連決議があれば、インド洋での海上阻止活動に参加することを、検討するというものです。海外派兵を進める点で、民主党案と与党案は、うりふたつです。

これでは、国民の民意にそむくのではないのでしょうか。

みなさん。

インド洋で、日本の海上自衛隊がおこなった給油活動は、アフガニスタンやイラクで、罪のない人々を殺害する、米軍への支援活動です。戦争でテロをなくすことはできません。アフガニスタン政府とアフガニスタン国会は、対話による政治的な解決を望んでいます。この道を進めるために、日本政府は、外交的な努力をこそ、するべきではないのでしょうか。

アメリカいなり政治をやめること——これこそ、新しい政治の第一歩です。日本共産党は、新テロ対策特別措置法案を廃案にするために、全力を尽くして頑張ります。

「近所のみなさん。

暮らしの問題では、年金、医療、社会保障財源問題が、気がかりです。

「消えた年金」問題では、福田内閣が進める「年金特別便」は、「一億人レター作戦」に反する、公約違反です。すべての国民に対して、月額報酬記録や加入期間、事業所など、政府が持っている情報を、提供するべきではないでしょうか。

今年四月から実施される「後期高齢者医療制度」は、高齢者に負担増と差別をもたらす、とんでもない制度です。中止・撤回を求める運動と世論を、ごいっしょに広げようではありませんか。

みなさん。

社会保障財源として、消費税増税という声が、財界をはじめ、自民・公明からも、民主党からもあがっているのは、どういうことでしょうか。バブルの時期の二倍もの利益をあげている大企業への、行き過ぎた減税を見直すことこそ、真っ先にやるべきではないでしょうか。

大企業いなり政治をやめて、大企業に、ヨーロッパなみの、労働者や消費者、社会保障や環境などに対する、社会的な責任を果たさせること——これこそ、新しい政治というものです。

年内総選挙が予想されます。新しい政治をめざす日本共産党をよろしくお願いします。ありがとうございました。